



青少年の健全育成の推進

- 「こどもまんなか社会」の実現に向け、社会参画活動や文化・スポーツ活動等の活性化を通じて青少年の健全育成を図る。

【提案・要望先】 内閣府・文部科学省

1. 提案・要望内容

青少年活動の活性化

- 青少年の社会参画活動や文化・スポーツ等の体験活動に対する社会全体の理解醸成を図るための広域的な情報発信と活動への参加促進に向けた環境整備
- 青少年の社会活動を後押しするための交付金制度の拡充

2. 提案・要望の理由

- 「こどもまんなか社会」の実現に向けた政策が強力に推進される中、義務教育課程までの子どもや子育てに関する施策とあわせて、青少年を対象とした施策を拡充し、一体的な理念として社会に浸透させることが重要。
- 青少年活動を活性化するためには、国による優良事例紹介などの広域的な情報発信により国民の理解を醸成するとともに、職場のサークル活動としての位置付けや休暇取得に関する企業の協力といった青少年が活動に参加しやすくなる仕組みの整備等が必要。
- 本県では、子ども施策に係る計画において「青少年の健全な成長」を位置づけており、地域での青少年活動において、多くの熱心な若者が育ち、地域のリーダーとしての活躍につながってきたが、近年、参加者が減少傾向にあることから、琵琶湖をはじめとした滋賀ならではの体験活動や環境保全を目的とした社会活動など幅広い活動を対象とした新たな助成制度を創設し、民間との協働により青少年活動の活性化を図ることとしているところ。
- 青少年の健やかな成長、社会性や自己肯定感の形成に必要な機会を充実させることは、子どもから若者、子育て世代までを切れ目なく支援する上で重要であることから、既存の交付金制度の拡充により、このような支援を後押しし、全国的な気運を醸成することが必要。

(本県の取組状況)

(1) 青少年の交流の場を提供する取組

① しが若者ミーティング事業

目的:若者が地域と関わり合いながら主体的に活動するための新たな気づきや新しく活動を始めるきっかけ作り、また参加者同士の交流によるつながり作り。

内容:若者による活動内容の発表や若者による活動団体との交流・意見交換等

- ・コーディネーター、ゲストスピーカーによる話題提供
- ・若者の活動実施団体による話題提供
- ・グループセッション、全体セッション

実績:年2回開催(6/25、11/5)、延べ35名参加

参加者の意見

「活気あふれる若者同士で交流できてよかった。」「同じ滋賀県で活動する仲間がたくさんいることが嬉しい。」「自分がしている活動も、改めてやりがいを感じる活動だと実感できた。」



② 青少年団体ネットワーク事業

目的:青少年関係団体相互の理解と協力体制の強化、今後の地域社会全体での青少年育成活動の一層の推進。

内容:県内の青少年関係団体が一堂に会し、各団体の現状や実践、今後の方策等について意見交換を行う。

実績:意見交換会 年3回開催(6/3、10/21、2/22)、延べ17団体参加

フォーラム 年1回開催(11/26)、14団体30名参加



(2) 協働で進める子ども・若者まんなか活動助成事業〈R5〜〉

目的:子どもたちの健やかな育ちや学びの機会、若者が地域で幅広い年代の人々と関わり、様々な体験をする機会の創出。

内容:NPOのスキルアップや団体間連携による新たな活動創出の機会作りなど民間活動の育成と促進を図り、社会全体で子ども・若者に向けた支援の取組を進める。(NPO等への複数年度にわたる公募型助成)

(3) 青少年の海外交流

内容:本年8月には、中国湖南省との提携40周年を記念し、両県省の青少年交流として、大学生のグループワークや高校生の書の交流(共同制作等)を実施した。

訪中団の構成:総勢50名
(知事一行5名、大学生交流団9名、高校生書道交流団16名、県民交流団11名、観光等関係者9名)

担当:健康医療福祉部 子ども・青少年局
子ども未来戦略室 総務・青少年係
TEL:077-528-3550